

取り扱い上のご注意

このカタログの掲載商品は、面板製作、組み立て、メンテナンス対応可能で知識のある専門業者様向けの商品となっています。ご購入、設計への導入につきましては、充分ご考慮願います。

パネル・スタンド類の取り扱いについて

取り付け・設置に際して

- 1 組み立て、取り付けの際は、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、記載された注意事項を守って正しく行ってください。
 - 2 環境条件にご注意ください。
 - ・屋内向き仕様の商品は、直射日光や雨風を避けて取り付けてください。
 - ・樹脂部品(面板等)は、冷暖房の空調設備付近(熱風・冷房の直接当たる場所)には設置しないでください。
 - 3 設置場所にご配慮ください。
 - ・人通りや周囲の状況に配慮し、通行やポスター等の入れ替え作業に支障のない安全な場所に取り付けてください。
 - 4 設置面の材質・状態をご確認ください。
 - ・フレームや掲示物の重さに耐えられる壁面・天井面・床面に取り付けてください。
 - 5 取り付け具を正しくお選びください。
 - ・壁面の材質により、付属の取り付け具(直付け用ビス等)が合わない場合があります。
 - ・市販の取り付け具をご使用の際は、フレームや掲示物の重さに耐えられるものを選び、取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。
 - 6 スタンド式の商品は転倒にご注意いただき、安全な場所と方法で設置してください。
 - ・転倒や移動による事故防止のため、スタンド式の商品は、凹凸や傾斜のない平らな床面に設置し、キャスターの付いている場合は必ずロックしてください。
 - ・屋外でご使用の際は重りをのせる等の対策を行ってください。
 - ・強風で倒れたり、動く可能性のある時は、風の当たらない場所へ移動してください。
 - ・パネル等の対応サイズは守ってください。落下、転倒の原因となる恐れがあります。
 - 7 壁面への取り付けの際に、壁面の平面を出して取り付けてください。
 - ・壁面に凹凸がある場合、商品本来の機能が失われるだけでなく、商品全体が変形する恐れがあります。
 - 8 取り付けの際はフレームの上下、左右の辺を必ず固定してください。
 - ・震動等によりフレームがズレたり、落下する恐れがあります。
- ※取り付けの不備による事故については、責任を負いかねます。

ご使用に際して

- 1 フレーム切り口や角部は鋭利ですので、取り扱いにご注意ください。
 - ・手などを傷つける恐れがあります。また、フレームの角に人が当たると、けがをしたり、衣服を損傷したりすることがあります。
- 2 フレームの下に大切なものを置かないでください。
 - ・予期せぬ事態でフレームが脱落することも予想されます。
 - ・フレームの下には大切なものや家具等を置かないようにしてください。
- 3 中身やフレームがしっかり固定されているかご確認ください。
 - ・中身のセット後、開閉フレームやネジ等の可動部分がしっかり固定されていることを確認してお使いください。
 - ・ロックが不十分だと中身やフレームが落下する恐れがあります。
- 4 取扱説明書は、大切に保管してください。
 - ・操作方法や注意事項が記載してあります。

お手入れに際して

- 1 定期的に点検してください。
 - ・フレームと裏側の金属部分(取り付け金具等)にガタつき、錆、腐食等の異常がないか、吊りひも、ワイヤー等に異常がないかを点検し、異常がある場合は交換してください。
- 2 定期的に清掃してください。
 - ・フレームおよびフレームの周辺はほこりがたまりやすく、放置していると壁を汚すことがありますので定期的に清掃してください。
 - ・柔らかい布を水でしめらせ、よくしぼってふいてください。金属磨き、サンドペーパー等は器具をいためます。
 - ・器具に殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジン等、揮発性のあるものでふいたりしないでください。変色、変質の原因となります。

突き出しフラッグ・自立看板・自立掲示板の取り扱いについて

警告

- 1 取り付けは、専門知識のある業者の方にご依頼ください。
- 2 設置場所は各地区の法定基準に従ってください。
必要に応じて各種申請などの法的手続きを行ってください。
- 3 設置高さは各地区の法定基準に従ってください。
- 4 壁面、周囲、下部の状況、強風などの環境面を考慮に入れて、安全な場所に取り付けてください。
- 5 電気器具商品は、電源配線工事が必要です。
ご使用の場合は、アース線を必ず取り付けてください。
- 6 振止め棒のある場合は必ず取り付けてください。
- 7 取り付け用のビス、アンカーなどは設置場所の壁や地面の状況に合わせてご用意ください。
- 8 コンクリート埋め込みの自立タイプは各地区の法定基準に従ってください。
- 9 電気工事は必ず電気工事業者にご依頼ください。感電やショートの原因となります。

取り付けに際して

- 1 器具や部品の改造は行わないでください。
- 2 ガラス類の取り扱いには十分ご注意ください。破損した場合は、至急交換ください。
- 3 運搬・保管、取り扱いには充分配慮ください。

ご使用に際して

- 1 定期的に点検を行ってください。異常がある場合はただちに対処して正常な状態にしてください。
- 2 ランプやグロースターターは寿命がありますので、交換が必要です。
- 3 ランプ交換や器具のお手入れは、必ず電源を切ってから行ってください。

お手入れに際して

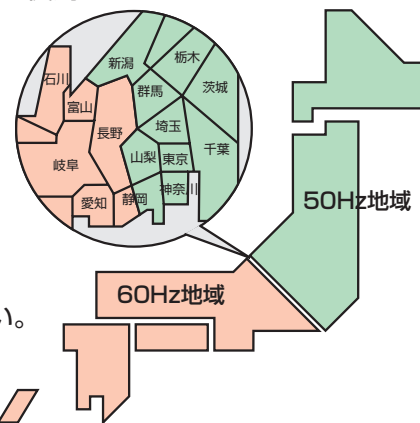
取り扱い上のご注意

このカタログの掲載商品は、面板製作、組み立て、メンテナンス対応可能で知識のある専門業者様向けの商品となっています。ご購入、設計への導入につきましては、充分ご考慮願います。

電気器具商品(内照パネル・電飾スタンド)の取り扱いについて

取り付け・設置に際して

- 1 取り付けは専門知識のある業者の方にご依頼ください。電気工事は必ず電気工事業者にご依頼ください。感電やショートの原因となります。屋内用商品は、屋外では使用しないでください。
- 2 環境条件に留意し、次のような場所では使用しないでください。
落下、感電、火災、故障の原因となります。
 - ・直射日光の当たる場所や、熱器具の近くなど高温になる場所(周囲温度10℃～40℃の範囲内でご使用ください)
 - ・湿気の多い場所 ・振動の多い場所
 - ・スプレー・ラッカー・ガスなど引火性のものの近く
- 3 器具を埋め込みにて設置する場合は、器具の周囲、裏面に必ず空気の対流できる放熱空間を設けてください。
面板等の変形や、電気部品の故障原因となります。
- 4 表示された電源電圧、周波数以外の電源で使用しないでください。
50Hzの地域で60Hz用器具を使用すると、ランプ電流が増加し、焼損を引き起こす恐れがあります。また60Hzの地域で50Hz用器具を使用すると、ランプの不点灯や短寿命につながります。
- 5 定格入力電圧100V電源電圧の変動は、±6%の範囲内でご使用ください。
 - ・器具を取り付けされる前に、必ず点灯確認を行ってください。
 - ・他の機器との同一電源(集合電源)において一括電源投入された場合、以下のような原因によりインバーターが故障することがあります。電気工事士にご相談の上、専用電源・ノイズ対策器具・サージプロテクター等の対策器具を導入ください。
例：エレベーター・空調・冷蔵・冷凍・ショウケース等ノイズ対策されていない機器からのノイズの侵入
電気回路系統の過渡現象による開閉サージの侵入 調光器・節電装置との併用によるパルス電圧の印加
- 6 電気器具商品を取り付け(施工)する際に、器具への後加工(穴あけ、金具の取り付け)での切り屑や器具の変形は、故障の原因となります。
- 7 一次側の接続は確実に行ってください。接続不良をおこすと故障、事故や損害の原因となります。
- 8 電飾スタンドの設置について
人通りや周囲の状況に配慮し、電源コードが通行の妨げにならない様にして、安全な場所に設置してください。
転倒や移動による事故防止のため、凹凸や傾斜のない平らな床面に設置し、キャスターの付いている場合は必ずロックしてください。
屋外でご使用の際は、重りをのせる等の対策を行ってください。
屋外では防水コンセントに接続してください。アース線は確実に取り付けてください。
強風で倒れたり、動く可能性のある時は、風の当たらない場所に移動してください。



ご使用に際して

- 1 器具や部品の改造はしないでください。
電気部品の故障原因となるだけでなく、落下、感電、火災の原因にもなります。
- 2 器具を布・紙等で覆わないでください。
損傷、火災の原因となります。
- 3 器具をめれた手でさわったり、器具のすき間に金属類(針金、ピン等)を差し込んだりしないでください。
感電の原因となります。
- 4 器具の点灯(ON・OFF)は、必ず器具付属のスイッチで行ってください。
損傷、火災の原因となります。
- 5 インバーターや器具の近くに、マグネットを近づけないでください。
故障の原因となります。

お手入れに際して

- 1 定期的に点検をしてください。
 - ・パネルのゆがみ、ガタつき、錆、腐食、または安定器や配線等に異常がある場合は、すみやかに専門業者の方に交換を依頼してください。
- 2 蛍光灯ランプやグロースターターは交換が必要です。
 - ・交換時は器具やランプの破損及び不点灯などが生じやすいため、お買い求めの販売店へご依頼ください。
 - ・ランプやグロースターターが寿命になると、管端が黒くなったり、点滅を繰り返したりします。早めにお取り替えてください。放置すると安定器をいためる原因となります。
 - ・ランプやグロースターターは、器具に表示されている種類及びワット数のものご使用ください。
 - ・LEDランプは一般店では販売しておりません。ランプの不点灯、暗くなってきた場合などはお買い求めの販売店へお問い合わせください。
 - ・本体一体型のライティングパネルは、ランプ交換などメンテナンス対応できません。
- 3 ランプ交換や器具のお手入れは、必ず電源を切ってから行ってください。
 - ・電源がついたままだと感電の原因となります。また電圧事情の悪い地域ではランプ不点灯の原因となります。
 - ・ランプ交換や器具のお手入れの際、点灯中や消灯直後はランプが高温になっていることがありますので、さわらないでください。やけどの原因となります。(消灯後5分以上置くことをおすすめします。)